

令和7年度 小松市立矢田野小学校「学校経営ビジョン」

<学校教育目標>

学び続けて 未来を拓く 矢田野っ子の育成

自己判断・自己決定

場面や状況に応じて
行動する子
「今はこれ!」「みんなのために」

問う力

問いをもって
主体的に学ぶ子
「なんで?」「どうのこと?」

コミュニケーション能力

他者と
連携・分担・協力する子
「教えて?」「一緒にしよう!」

『問いをもつ 考える 学び合う』つながる矢田野っ子

子どもと共に創る…子どもに委ねる授業への挑戦

【自ら学びを進める子どもたちに】

- ・授業づくり「児童の問いを生かす、学び方を選択できる学習環境整備、学びの状況を把握」
- ・主体性の育成「児童主体のクラス会議・児童会活動」「カリキュラムマネジメントの充実」
- ・豊かな心と身体の育成「道德教育の推進」「読書活動の奨励」「体育授業の充実」

研修の充実（教師自身が問いをもって）

自己実現を支える生徒指導の実現

特別支援教育の理解と推進

【特別支援教育と生徒指導の連動】

- ・日常的な発達支持的生徒指導(育てるく自ら育つのを助ける)
- ・生徒指導の4つの視点を意識した授業の実践(生かす・認める・つなぐ働きかけ)
- ・実態把握、特性理解をベースに児童理解 ⇒ 個に応じた指導・支援＋組織的対応

【幼・小・中の連携】

- ・児童生徒・保護者・家庭の状況・実態の把握と共有
- ・現状と課題（学力、体力、学校評価アンケート結果、生徒指導の重点）等の共有

【保護者・地域との連携と分担】

- ・学校の取組の周知（行事等取組の目的・児童の成長、変容を中心に）
- ・課題意識、危機意識等の共有（生活習慣・メディア利用・防災・安全等）
- ・地域人材（施設）等を活用した体験活動（地域理解、伝統文化継承、郷土愛育成）